



1学期のまとめの7月を迎えましたが……

先日、本市でも「記録的短時間大雨」を記録するなど、九州地方で記録的豪雨がありました。各地で土砂災害や浸水、河川の氾濫が発生し、今回も自然災害の恐ろしさを感じさせられました。このたびの大雨で、お住まいの地域周辺でも、川の氾濫のおそれや土砂災害等の発生で、被害がでていること、心からお見舞い申し上げます。

1学期のまとめの月である7月を迎えましたが、本年度は新型コロナウイルス感染症予防、熱中症対策、それに大雨に対する備えと、数々の制約がある中での7月となりました。そのような状況の中でも、子どもたちは、前向きに学習に取り組んでいます。

今月は、4月及び5月の臨時休業により実施できなかった学習を補うため、夏休みを短縮し、31日が1学期の終業式となります。

雨模様の毎日で、梅雨明けが待たれる日々ですが、引き続き感染症予防、熱中症対策等に取り組みながら、学期末のまとめをしっかりと行っていきたいと思います。

○各種掲示コーナーから

① 職員掲示版

児童玄関の靴箱横に掲示版がありますが、職員が毎月当番で掲示を担当しています。7月は、複式支援の村田先生が担当で、「東っ子の心根っこ」と題して、文が綴られていました。いろいろな働きをもつ「口・耳・目・手・心」を、こんな視点で使ってみたらどうですか、という先生の東っ子に寄せる温かい眼差しに触れるとともに、文に添えられているヒマワリがとてもリアルに描写されています。



② 学年別掲示版

校舎各階の踊り場に掲示版があります。学年別にコーナーを設け、掲示しております。今月の9日の授業参観の折りに見ていただくようにしておりましたが、先日の大雨で、参観が実施できませんでした。そこで、学年別の掲示版を紹介します。

【1・2年】掲示版

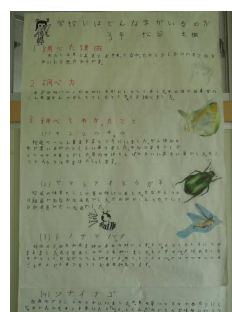
「ちょきちょきかざり」
折り紙を折ったり、切ったりして模様を作りました。七夕の願いも一緒に付けてありました。中に「コロナがおわりますように」と書かれた短冊も見られました。

また、「クレヨンのはん」という題材で、クレヨンで「太く、細く、濃く、薄く」と描き方を変えて、いろいろな形や模様を描いていました。



【3・4年】掲示版

3年生は「学校にはどんな虫がいるのか」「のう具そうこにはどんな道具があるのか」など、調べることを決め、調べた理由、調べ方、調べて分かったこと、調べた感想を各自書いていました。4年生は、「東小新聞」というタイトルで、1年生インタビューしたこと、国語の音読発表会の様子、この地域で見つけたものなど、記事を分担して、イラストを交えながら、書いていました。



【5・6年】掲示版

5年生は「環境問題について」と題して、ゴミ問題や大気汚染等について、図表やグラフを用いて、自分の考えが伝わるように、原因やこれからどうすればよいか、など書き表し方を工夫して書いていました。6年生は「歴史新聞」と題して、縄文・弥生・古墳時代について、その時代の様子や調べての感想を書いていました。



これからも、各学年に応じて、自分の考えや思いが伝わるような書き表し方を工夫しながら、書く力を高めていきたいと思います。